

令和7年度

自治町会長連絡会

開催報告

(概要)



も く じ

1	令和7年度自治町会長連絡会の概要.....	2
	(1) 開催日時・会場.....	2
	(2) 出席者.....	2
	①自治町会長出席状況.....	2
	②葛飾区出席者.....	2
	(3) 会議次第.....	3
	(4) 区長挨拶（要旨）.....	4
2	自治町会長の発言事項一覧.....	5
	(1) 令和7年7月 4日（金）.....	5
	(2) 令和7年7月 14日（月）.....	5
	(3) 令和7年7月 17日（木）.....	6
3	意見交換の記録.....	7
	(1) 令和7年7月 4日（金）.....	7
	(2) 令和7年7月 14日（月）.....	12
	(3) 令和7年7月 17日（木）.....	16

1 令和7年度自治町会長連絡会の概要

(1) 開催日時・会場

日付	時間	会場
7月4日(金)	午前10時～正午	堀切地区センター(ホール)
7月14日(月)	午後2時～午後4時	葛飾区役所(705・706会議室)
7月17日(木)		金町地区センター(ホール)

(2) 出席者

①自治町会長出席状況

日付	地区	対象自治町会数		出席自治町会数		出席率	
		令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度
7/4 (金)	堀切	8	8	7	5	87.50%	62.50%
	南綾瀬	22	22	5	9	22.73%	40.91%
	お花茶屋	19	19	3	5	15.79%	26.32%
	亀有	33	33	6	4	18.18%	12.12%
小計		82	82	21	23	25.61%	28.05%
7/14 (月)	立石	11	11	6	4	54.55%	36.36%
	東立石	8	8	3	6	37.50%	75.00%
	東四つ木	4	4	1	1	25.00%	25.00%
	四つ木	7	7	3	3	42.86%	42.86%
	青戸	18	18	3	4	16.67%	22.22%
	新小岩北	9	9	1	1	11.11%	11.11%
	新小岩	12	12	3	4	25.00%	33.33%
	奥戸	6	6	2	1	33.33%	16.67%
高砂	10	10	7	10	70.00%	100.00%	
小計		85	85	29	34	34.12%	40.00%
7/17 (木)	柴又	6	6	4	4	66.67%	66.67%
	新宿	7	7	3	2	42.86%	28.57%
	金町	29	29	13	12	44.83%	41.38%
	東金町	6	6	0	1	0.00%	16.67%
	水元	12	12	8	4	66.67%	33.33%
	西水元	14	14	5	3	35.71%	21.43%
小計		74	74	33	26	44.59%	35.14%
計		241	241	83	83	34.44%	34.44%

②葛飾区出席者

区長、教育長、政策経営部長、事業推進担当部長、総務部長、地域振興部長、危機管理・防災担当部長、福祉部長、健康部長、子育て支援部長、都市整備部長、交通政策担当部長、都市施設担当部長、すぐやる課長

(3) 会議次第

① 区長挨拶（要旨のみ掲載）

② 区政報告

ア) 高齢者の在宅介護支援の充実について（内容は省略）

イ) 区民サービス向上や効率化に向けたDX推進について（内容は省略）

③ 区政についての意見交換

自治町会長連絡会の様子 堀切地区センター



自治町会長連絡会の様子 葛飾区役所



(4) 区長挨拶（要旨）

安全で安心、そして住みやすい地域づくりのために日々努力をいただいております。誠にありがとうございます。

葛飾区では協働を大きなテーマとして掲げ、この間進めております。葛飾は下町ですので、みんなが力を合わせる事がとても大事な事だと考えております。そうした中で、区の事業としては大きな柱として、災害に強いまちづくり、少子高齢化対策、環境問題の解決などを掲げております。

災害対策につきましては、まちづくり、駅周辺の再開発、木造密集地域の解消などを着実に進めてまいりました。また、感震ブレーカーの設置など震災対策も進めてきたところであります。また、併せて、避難の際の取組みについても着実に進めてまいりました。高齢化が進む中で高齢者の皆さん、特に独居の方がどう避難をするのか、これは大きな課題ですので、それについて計画をつくり、そして避難をする際に助けていただける方も確保していきたいということで計画づくりを進めています。

次に、子育てについて申し上げますと、妊娠、出産、そして子育て、幼稚園、保育園、小学校、中学校とあり、各段階に合った支援を着実に進めてまいりました。特に、保育園対策を進めてまいりましたが、最近では小学校の給食費の無償化を全国に先駆けて実施をさせていただきました。そして今年からは修学旅行や林間学校の無償化もさせていただきました。こうした取組みは、23区はもとより都内全域に広がってきているところでございます。こうした取組みをこれからもしっかりと進めてまいりたいと思います。

また、高齢者の対応、とりわけがん検診について、今年からは区が実施する全てのがん検診の費用を無料化させていただきました。受けていただきますと、早期発見、早期治療するという事になりますので、ぜひそうした取組みも進めていきたいと思っております。

環境問題の解決、特にごみ問題を解決しようということで、町会の皆さんとともにごみの減量化リサイクルを進めてまいりました。併せて最近のこの地球温暖化の中でゼロエミッション宣言について、葛飾は23区で1番に発信をさせていただきました。最近では、学校の建替えを行っておりますが、学校の建替えの際には断熱することを進めてきました。断熱をすることによって、エネルギー消費量も減るため、そうした取組みも着実に進めていきたいと思っております。

しかし、最も大事なことは地域の皆さんと連携協働できるかということだろうと思っております。例えば、再開発やまちづくり、これは地域と連携しなければできません。まちづくりをするということは反対意見もあり、問題点も発見されます。しかし、みんなで議論をして、それによって安全で安心なまちになる。議論し、連携していくことが大事だと思います。子育てについても高齢化対策も同じです。地域と連携をしなければ、実際に進めていくことはできません。多くの方々が無関心でいるということが大変大きな課題でありますので、ぜひいろんな施策にも関心を持っていただき、そうした取組みをすることによって町会活動にもよい影響があるのかなと思っております。

皆さんからの様々なご要望、ご意見をお伺いして、そしてこの葛飾がさらに住みやすいまちになるように議論を深めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

2 自治町会長の発言事項一覧

(1) 令和7年7月4日(金)

地区	自治町会	件名	掲載頁
南綾瀬	小菅四丁目町会	古隅田川での釣りについて	7
	小菅東自治会	ボランティア保険について	
お花茶屋	お花茶屋町会	お花茶屋駅の屋根について	8
	一舟町会	DX(デジタルトランスフォーメーション)について	
		曳舟川親水公園の柵修繕について	
		街路樹の剪定について	
亀有	亀有西三自治会	防災倉庫の新設について	9
	富士見町会	防災倉庫の移設について	
南綾瀬	小菅四丁目町会	自治会支援アプリの対応OSについて	
堀切	堀切中央町会	高齢者向け健康づくり講座の男性参加について	10
	堀切北町会	民泊について	
お花茶屋	一舟町会	町会単位での避難所運営について	
堀切	堀切京南自治会	教育現場の不祥事対策について	
お花茶屋	一舟町会	子ども会への支援について	11
亀有	亀有西三自治会	マンション住民の町会加入促進について	

(2) 令和7年7月14日(月)

地区	自治町会	件名	掲載頁
新小岩北	東新小岩八丁目町会	新小岩北地区センターについて	12
四つ木	四つ木町会	町会への加入促進について	
奥戸	奥戸一丁目町会	森永跡地の物流センター・外国人との交流について	13
立石	梅田町会	町会費集金のキャッシュレス化支援について	
東四つ木	渋江東町会	町会役員の応募促進について	14
青戸	白鳥東町会	青砥駅前へのホテル誘致について	
高砂	高砂南町会	民泊について	
青戸	中青戸町会	区有地への町会会館建設について	15
	青戸五丁目町会	本田消防署青戸出張所の跡地について	
東立石	川端南町会	グリーンスローモビリティについて	16
立石	立石仲町会	青砥駅周辺の停車について	

(3) 令和7年7月17日(木)

地区	自治町会	件名	掲載頁
柴又	ガーデンプラザ柴又自治会	在宅避難について	16
		町会活動の活性化について	17
金町	シティテラス金町自治会	金町駅周辺の交通問題について	18
	プラウドシティ金町自治会	新金線・デジタル化への助成金について	19
		クラウドシステムの構築について	
	金町南自治会	町会活動時の規制緩和・モンチャレポイントの活用について	20
	東金町中央自治会	空き家対策について	
		空き地の雑草について	
	シティタワー金町コミュニティクラブ	JR金町駅西口改札の新設・金町地区センター跡地の活用について	21
	シティテラス金町自治会	防犯カメラの設置助成拡大について	
プラウドシティ金町自治会	自治町会長の学校行事参加について	22	

自治町会長連絡会の様子 金町地区センター



3 意見交換の記録

(1) 令和7年7月4日(金)

<小菅四丁目町会>

古隅田川での釣りについて

白鷺公園では、釣りをする人が多く、特に古隅田川に挟まれたエリアでの釣りが危険だと感じています。この公園は保育園の子どもたちが遊ぶ場所でもあり、釣り糸による事故や鳥が引っかかる事例も発生しています。近隣の学校では釣りを禁止する方針を徹底しており、子どもたちの安全を守るためにも、釣りを禁止することを強く要望します。

<区長>

子どもたちの安全を守ることは確かに重要ですが、同時にそれに伴って多くの人の楽しみや活動を奪ってしまうことは適切ではないとも考えています。葛飾区は川に囲まれており、釣りを楽しむ人も多いため、安全を確保することが大切です。古隅田川では注意喚起の看板を設置しており、こすげ小学校では釣りを禁止する方針を取っていますが、他の学校はそれぞれの判断に委ねられています。

区では橋の上での釣りを禁止していますが、それ以外の場所での釣りは禁止しておらず、状況に応じた注意喚起を行っていく方針です。子どもたちの安全を確保するために関係者と連携しながら取り組んでいきます。

<小菅東自治会>

ボランティア保険について

自治会では事故を避けるための対策を講じていますが、万が一の事故に備えるための補償が不十分であることが懸念されています。現在、ボランティア保険は補償内容が脆弱であり、自治会活動全般をカバーするものではありません。当自治会でも民間保険会社の保険加入を検討していますが、この保険費用は40万円から50万円程度掛かるため、自治会の予算に対して大きな負担となります。

新宿区や堺市では自治会活動保険への補助金制度があるようです。今後の自治会活動、ひいては地域の安全や防災対策において重要だと考えていますので、葛飾区でも保険料に対する助成金の検討を早急にお願いしたいです。

<区長>

ボランティア活動に関する保険について、葛飾区では「ボランティア保険」という制度がありません。新宿区の制度も補償内容は似ておりますが、金額面で若干の違いがあります。

ただし、本人のけがに関する補償は少額であり、健康保険が適用されることが前提となっております。事故が起きた際の損害賠償や物の破損に対する保険が主な内容であるため、町会で別途保険に加入するケースもあります。

また、葛飾区では保険を受けるための事前登録が必要ですが、新宿区では後から報告する方式を採用しています。どちらが良いかは一概には言えませんが、事前登録の方がトラブルを避けやすいという意見もあります。

安全で安心なボランティア活動を行うためには、保険制度をよく理解し、必要に応じて補償内容を見直すことが重要です。町会の皆さんにもこの情報を共有し、活動を行っていただく方の保険に

についても検討していく必要があると考えています。今後も安全なボランティア活動を推進していきたいと思います。

<お花茶屋町会>

お花茶屋駅の屋根について

京成お花茶屋駅北口について、激しい雨や急な雨の際に階段に人が集まり危険であるため、歩道上に雨をしのげる屋根の設置を要望します。

<区長>

J R の駅では、亀有駅のように出口に屋根があり、バス乗り場にも屋根が設置されている例があります。お花茶屋駅の出口には屋根がありますが、その先にはないため、京成電鉄と協議をしたいと思います。京成電鉄と区の土地があり、多くの通行者がいることから、何らかの形で設置ができないか検討したいと思います。

<一舟町会>

D X (デジタルトランスフォーメーション) について

葛飾区のD Xについて事業推進担当部長から説明がありましたが、高齢者にはD Xの具体的な意味や内容が分かりにくいいため、D Xの概念について説明してほしいです。

<区長>

デジタル機器、例えばパソコンやスマートフォン、タブレットなどを活用して、生活を便利にすることがデジタルトランスフォーメーションと呼ばれます。最近では90%以上の方がスマートフォンを使用しており、これを利用して様々な便利なサービスを提供することが重要とされています。デジタルの使い道は広がっており、葛飾区でも積極的に活用していく方針です。

<事業推進担当部長>

D Xは、IT やデジタル機器を活用して、従来のやり方を変えることを指します。例えば、紙の閲覧板をデジタル機器で新しい方法に変えることがD Xの一例です。

<一舟町会>

曳舟川親水公園の柵修繕について

一舟町会の中心にある曳舟川親水公園の白鳥地区とお花茶屋地区の間の歩道に柵があります。この柵は2年以上前の自動車事故で壊れたままで、当初は保険会社の査定を待っているとのことでしたが、未だに修理が行われていません。区が代わりに修理を行い、その費用を保険会社に請求することを提案します。

<区長>

区民に迷惑をかけているため、迅速に整備を進めたいと考えています。また、今後同様の事態が発生した際には、早期に対応します。

<一舟町会>

街路樹の剪定について

お花茶屋駅から曳舟十三橋に向かう一方通行の通りでは、自転車が左側を通行するため、対向車が来ると左に寄ることがあります。しかし、曳舟川親水公園の街路樹の枝が下がっているため、急

に寄った際に枝が目当たる危険があります。自転車利用者が多いため、街路樹の枝の剪定を行っていただければと思います。

<区長>

自転車の通行に関して、左側通行や一時停止を遵守すべきと考えます。一方で公園の木や街路樹が出ている場合があるため、個別に情報を提供していただいて現場を確認の上、速やかに剪定等を行いたいと思います。安全確保が重要であるため、同様の場所を見かけた際は、教えていただければと思います。

<亀有西三自治会>

防災倉庫の新設について

亀有西三自治会は亀有駅南口に位置し、駅前のリリオパークに防災倉庫を設置したいと考えていますが、公園内にはすでに交番や自転車スロープ、喫煙所などがあり、防災倉庫はできないとのことでした。何か他に方法はないでしょうか。

<区長>

災害対策に真剣に取り組んでいただき感謝申し上げます。各地から防災倉庫の設置希望があり、5平米の倉庫を設置するための場所の確保をお願いしています。公共施設の裏や公園内での設置を検討していますが、リリオパークは利用頻度が高く、設置が難しい状況です。防災と公園機能の両立が重要ですので、引き続き相談しながら適切な場所を探していきたいと思います。災害対策は葛飾区にとって最重要課題ですので、みなさんと相談させていただいて検討していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

<富士見町会>

防災倉庫の移設について

亀有五丁目富士見町会の防災倉庫が中之台小学校の敷地外にあり、平成30年に区へお願いして鍵の修繕をしてもらいました。その際に経年劣化で傾いていて、このままでは使用できなくなるため建替えも希望しましたが、法律の改定により学校敷地内での建替えはできないとのことでした。

それ以来、新たな場所を探すように言われてから数年が経過しており、適切な場所に防災倉庫を設置していただけるようお願いしたいと思います。

<区長>

防災倉庫は非常に重要であり壊れてしまうことは大変なことです。適切な場所を確保し、設置できるように引き続き相談したいと思います。

<小菅四丁目町会>

自治会支援アプリの対応 OS について

DX支援の自治町会向けアプリについて質問があります。区が用意するアプリの対応 OS について教えていただきたいです。パソコンは使えるがLINEを利用していない方や、携帯は使えるがパソコンが苦手な方など、さまざまな状況があります。AndroidやiOS、タブレットのChromeなど、アクセシビリティが重要であるため、その辺について教えてください。

<事業推進担当部長>

Android OS は 8.0 以上、iOS は 15.0 以上のバージョンで対応可能です。edge と chrome は動きます。Internet explorer だと動きません。

<堀切中央町会>

高齢者向け健康づくり講座の男性参加について

高齢者の健康づくり支援に関する講座について、延べ参加者人数が示されていますが、男女比についてのデータはあるのでしょうか。もし偏りがある場合、その理由や偏りを解消するための考えがあるかどうかをお伺いしたいです。私自身も高齢者であり、参加しづらいと感じたことがあるため、その点についての配慮をお願いしたいと思います。

<区長>

地域活動において女性の参加者が圧倒的に多く、男性の参加が少ない現状があります。男性が参加しづらいという実情は理解しており、これを改善するための工夫が必要だと考えています。男性が参加したいと思えるような対応を検討し、相談しながら進めていく必要があると考えています。

<福祉部長>

男女比についての具体的な統計は手元にありませんが、参加者の傾向として女性の参加率が圧倒的に高い状況です。大きな課題であると認識しており、今年度からシニア活動支援センターで男性向けのシリーズ講座「葛飾男塾」を開始しました。引き続き、男性の参加を促進するための講座を用意し、参加を募る考えです。

<開催状況>

11月19日（水）講座終了 参加者 24名

<堀切北町会>

民泊について

最近、堀切地区で民泊が増加し、外国人観光客が多く見られるようになりました。しかし、民泊を運営しているのは地元の住民ではなく、他の地域からの業者であることが多いと考えています。このため、住民が理解しやすいルールやガイドラインを設け、説明できるようにすることができないかと思ひ質問させていただきます。

<区長>

外国人観光客が増加しており、葛飾区でもこの2年間で民泊や一般の旅館が倍増しています。観光地としての重要性はありますが、夜中に到着する飛行機の影響で、騒音やトラブルが発生することもあります。そのため、民泊の運営に関する指導や規制を検討しています。特に、民泊の経営者が常駐していない場合の対応や連絡体制を整え、基準を設けて対策を進めたいと考えています。

<一舟町会>

町会単位での避難所運営について

避難所の運営は町会単位で行われることが多く、私の町会は白鳥とお花茶屋に分かれています。白鳥地区は白鳥小学校が避難所となる一方で、お花茶屋地区は上千葉砂原公園が指定されています。このような状況を避けるため、町会を考慮した避難所の運営について検討していただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

<区長>

避難の形態について、台風 19 号の際に 2 万人以上が学校に避難した経験から、避難者の偏りが問題であり、避難場所を固定することは難しいと感じています。また、47 万 2,000 人の区民がいる中で、全員が学校に避難するのは不可能であり、在宅避難が推奨される場合もあります。避難訓練を通じて、状況に応じた対応を検討し続ける必要があると考えています。さらに、災害の形態によって避難者の流れが異なるため、柔軟に対応していきたいと思います。

<堀切京南自治会>

教育現場の不祥事対策について

最近、教育現場での不祥事が発生し、葛飾区の学校も安全であるかという不安が保護者や地域に広がっています。特に、孫が通う学校の安全について心配する声もあります。教育現場の環境づくりに万全を期しているとは思いますが、こうした事件が起こると不安が増すのは事実です。葛飾区の教育委員会として、対策を講じているのかお伺いしたいと思います。

<区長>

教員の不祥事は大変な事態であり、教育委員会が対応を進めていかなければいけないと思いますので、教育長からお答えをさせていただきます。

<教育長>

最近の報道により、保護者や児童・生徒、地域の皆様が不安を感じており、教育の信用が失墜する事態が起きています。文部科学省からは、事件を防ぐための具体的な対策が通知され、教育委員会でも指導を強化しています。具体的には、教員と児童・生徒が密室の状況を作らないようにし、更衣室の整理整頓やカメラの隠蔽を防ぐこと、教員の私物スマートフォンやタブレットの持ち込み禁止などが含まれています。校長会でこれらの対策を再確認し、保護者にも学校の取組みを知らせるよう指示しました。教育委員会は引き続き意見を受け付け、事件が起こらないようにしっかり指導をしてまいりたいと思っております。

<一舟町会>

子ども会への支援について

町会の役員が不足しており、子ども会が減少している状況に困っています。子ども会を卒業した親たちを町会の役員に移行させることで、町会の役員を若返らせたいと考えています。町会は子ども会に補助金を出し、イベントでの協力を通じて交流を図っていますが、子ども会がなくなるところが多いため、区にも子ども会への支援をお願いしたいと思っております。

<区長>

子ども会活動は積極的に行ってほしいですが、実際には減少しています。また、子どもではありませんけれども高齢者の団体である長寿会も同様に減少しています。地域の交流や活動していくことがとても大事ですので、子ども会への支援を続けたいと考えています。さらに、地域の団体同士が連携することで町会活動が活性化することも考えられますので、そうした支援も検討していきたいと思います。

<亀有西三自治会>

マンション住民の町会加入促進について

マンション住民の町会への加入が少なくなっていることが課題です。14世帯以上のマンションでは建設前に話し合うことが可能ですが、施工業者が協力的でも、管理会社が一緒に説明はできないと断られてしまうことがあります。一方で、防災訓練などの際にはマンション住民が参加することがあるため、町会と連携して活動と呼びかける方法があれば、町会への理解が深まるのではないかと考えています。

<区長>

町会加入率の問題において、マンションの加入が大きな課題であると認識しています。マンション建設前からの対応が必要であり、大型マンション・小規模マンションともにそのエリアの町会への加入を促しています。加入は義務ではないため、理解を得ることが前提になります。

また、防災に関心が高いマンションに対して区が支援し、町会活動に参加してもらうよう進めています。今年は地域振興の担当職員も増やしたので、相談をしていただきながら、マンションの加入率を上げることができれば全体の加入率も上がることになりそうですのでよろしくお願いします。

(2) 令和7年7月14日(月)

<東新小岩八丁目町会>

新小岩北地区センターについて

現在、えきにくわ周辺では車や自転車の駐車に不便があり、使い勝手に問題があるため、新小岩北地区センターの事務機能復活に関して、再考を願いたいと思います。

<区長>

新小岩では、えきにくわの設置により南口と北口の施設が集約され、便利になった点が多くあります。土日や夜遅くまで利用できるようになり、通勤・通学の途中でも利用しやすくなりました。実際の利用状況から亀有駅や金町駅近くの区民事務所はたくさんの方に利用いただいているので新小岩駅につくらせていただきました。

しかし、駐輪場や駐車場が近くにないため不便との声もあります。駐輪場についてはチケットやスタンプを利用する方法を導入していますが、駐車場の設置は難しい状況です。

公共施設の効率化を進めつつ、利便性を高める取組みを行っているため、不便な点も少し出ることもあります。しかしながら、できるかぎりお話を聞いて対応策を考え、効率を上げながら少ない費用で対応でき、土日や夜間までできるとか、オンラインサービスの導入など、時代に合わせた対応を進めているところです。

<四つ木町会>

町会への加入促進について

地域に新たに建設された15階建ての高層住宅が3棟あり、町会の加入率向上に向けて努力しています。区とも相談しながら進めていきたいと考えています。町会は警察や消防、清掃局に分担金を出し、防犯カメラや街路灯も設置しており、地域への愛着を持つ住民を増やしたいと思っています。区の協力もお願いしたいと考えています。

<区長>

町会の加入率は大きな課題であり、特に新しいマンションの住民が町会に加入しないことはここ十数年の懸案です。区はマンション建設時に話し合いを行い、管理組合ができた際には町会と連携し

て取り組んでいます。大規模マンションでは管理組合に町会加入を促し、小規模マンションの場合は近隣の町会に加入してもらうよう努めています。今年から地域振興の職員を増員し、マンション建設前からの対応を進める方針です。強制ではないものの、加入を促進し、地域のつながりを強化するために区としても協力していく考えです。

<奥戸一丁目町会>

森永跡地の物流センター・外国人との交流について

奥戸一丁目町会では、森永跡地に建設中の物流センターに関して、住民から騒音や粉じんの苦情が寄せられています。特に懸念されているのが完成後の交通量で、1日5,000台の出入りが予想されています。住民からは交番の設置を求める声があり、町会から葛飾警察署に嘆願書を提出しましたが、警察署は交番を減らす方向で検討しているため、設置が難しい状況です。他の区では区役所が交番の代わりの施設や青パトを置く取組みを行っているところもあるそうです。警察署が難しい場合は住民が安心して生活できるように区に検討をお願いしたいと考えています。

また、町会員の減少について、葛飾区には3万人以上の外国人がいるものの、町会に参加しないことや、言葉の壁が問題となっています。区がポCKETークなどの携帯型翻訳機を町会に配布するなどの支援があれば、コミュニケーションが改善されるのではないかと思います。

<区長>

奥戸の森永工場跡地に建設中の物流センターについて、住民から日陰や交通量の増加に関する懸念が寄せられており、事業者と協議を続けています。交番の設置についても警察へ相談していますが難しい状況です。交通量の問題については、当初の想定に基づいて警察と協議はしますが、始まってからも実際の状況に応じて対応していきたいと思っています。

これまでの似たようなケースでは、水元の清掃工場建設時にも交通対策がいろいろ議論され、最終的に現在の形になっていますので、今後も事業者と相談しながら必要に応じた安全対策を講じて未然に事故を防いでいきたいと思っています。

二つ目のご質問の外国人の方についてですが、今後も外国人の増加が予想され、毎年約3,000人が増えています。区では、小中学校を対象に日本語初期指導を行い、子どもたちが日本語を話せるように支援しています。

また、大人向けには日本語教室を開いており、外国人が地域で共に過ごせるよう努力しています。今は無料でスマホでも音声翻訳などができるようになっているので、利用していただき、より交流を図っていただきたいと思います。

区は国際交流や地域振興に取り組んでおり、特に新小岩エリアは外国人が多いため、地域活動への参加を促進していきたいと考えています。

<梅田町会>

町会費集金のキャッシュレス化支援について

町会費の集金について、現在班長が現金で集めていますが、不在の方や集金が大変で班長を避ける方がいるため、PayPay払いの導入を検討しています。この方法は初期コストがかかりませんが、ランニングコストが約2%発生します。町会の継続的な運営のために、区がランニングコストの半分を負担してくれると助かるため、お願いしたいです。

<区長>

お金を集めることは本当に大変です。PayPay 払いの導入を含め、区が支援できる方法があれば応援したいと考えています。会費を払うことで会員意識も高まるため、ご相談をさせていただきたいと思います。これまでもイベント助成や世帯分の補助金、防災補助金などを通じて町会の活性化に取り組んできたため、今回の提案も検討していきたいと考えています。

<後日の対応>

梅田町会長へ町会費集金についてヒアリングを行い、QR コード決済導入に関しての助成金(東京都「町会・自治会デジタル化推進助成」)をご案内しました。

<渋谷東町会>

町会役員の応募促進について

町会の役員が不足している中、区長にお願いがあります。退職した住民の情報を区で把握し、男性・女性を問わず、年度末にボランティア活動を促すお知らせを送ることができないか相談したいです。マンション住民の中にも多くの人材がいると思われるため、彼らに町会へ入っていただく方法として有効だと考えています。ご検討をよろしくお願いいたします。

<区長>

個人情報の問題、特に税関連情報の利用は難しいと考えていますが、退職者がボランティア活動をしたというきっかけを作ることは重要です。広報などの方法で退職者にお知らせし、集まってもらうことを検討したいと思います。

アンケート調査ではボランティアを希望する退職者もいることが分かっています。町連とも連携し、退職した方の引きこもりを防ぐために、活動に参加してもらえる仕組みを考えていきたいと思っています。

<白鳥東町会>

青砥駅前へのホテル誘致について

青砥駅前にホテルを誘致することについての提案です。近年、青戸地区では観光目的の訪問者が増え、宿泊施設の需要が高まっていますが、駅周辺の民泊施設はその需要に対応できていない状況です。青砥駅は区を中心に位置し、交通の便が良いため、ホテルの誘致が可能であると考えています。また、災害時にはホテルを避難所として利用できるメリットもあります。この提案に対する区の考えをお聞きしたいと思います。

<区長>

葛飾区では、再開発の際にホテル事業者を誘致しようとしていますが、現状では成功したケースはありません。しかし、民泊や小規模旅館はこの2年間で増加しており、現在、旅館が335軒、民泊が308軒存在しています。需要はあるものの、大規模なホテルの誘致は難しい状況です。青戸や立石は羽田と成田を結ぶ途中に位置しており、ポテンシャルはあると考えていますが、区が直接ホテルを建設することはできませんので、再開発などが行われるときに民間に声をかけることはこれからもやっていきたいと思っています。宿泊施設の必要性は高まっており、今後も多くの訪問者が期待されます。また、民泊に関しては、夜間の騒音問題があるため、条例で管理を強化する方針です。

<高砂南町会>

民泊について

民泊に関する問題として、旅行者にはごみ出しについての責任はないと思いますが、管理会社にはしっかりと指導してほしいと考えています。最近、1棟貸しの施設でのごみ問題があったため、旅行者が適切にごみを処理できるように、区から管理会社に厳しく指導してほしいと思います。また、新しく建設される施設にはごみ置き場を設け、宿泊者が適切にごみを捨てられるようにしてほしいです。

それともう一点、最近、利益が上がるとの理由でワンルームマンションが増えていますが、ファミリータイプがちょっと少ないので、ファミリー向けの物件を増やすように指導をお願いしたいです。

<区長>

民泊の問題については、管理会社や所有者に指導をしていきたいと思っています。

また、マンションについては、30年程前からファミリー向けの物件も含めるよう指導してきましたが、ワンルームの方が売れやすく、結果的に多く建設されている状況です。区としては、今後もファミリー向けの物件を増やすよう指導を続け、地域の活性化を図りたいと考えています。

<中青戸町会>

区有地への町会会館建設について

多くの町会は会館や事務所、集会所を持っていますが、私の町会は何もなく、物の置き場所にも困っています。最近、区有地を見つけてその場所を借りて事務所を建てたいと役所に相談しましたが、前例がないとのことで1年待たされています。区有地に町会の事務所を建てることに問題があるのか分からないため、検討をお願いしたいと思っています。

<区長>

現在、町会の数は約235ありますが、そのうち町会会館を持っているのは3分の1以下です。葛飾区では、町会会館の建設を促進するために、40年前から補助金を増やし、現在では建設費の約9割を補助していますが、土地は町会が自ら確保する必要があります。防災倉庫については、公園や学校の一部を貸し出すケースがありますが、町会会館のための土地確保は難しい状況です。集会所や敬老館などの既存施設を活用する方向で進めていますが、私有財産としての建物は年数が経つと劣化するため、土地の問題は依然として課題です。葛飾区は23区でトップクラスの補助は行っていますが、土地の提供までは現状では困難だというふうに思っています。

<青戸五丁目町会>

本田消防署青戸出張所の跡地について

青戸五丁目にあった本田消防署の青戸出張所の跡地が整備中で、6月の終わり頃に測量を行いました。その跡地に何か建設予定があるのかをお聞きしたいと思っています。

<区長>

青戸出張所の消防署は新しい場所に移転しましたが、残った跡地については現時点で情報がありません。この土地は東京都のものであり、今後の利用計画について都に確認したいと思っています。

<後日の対応>

都への問合せの結果、利用計画は決まっていないとのことです。

<川端南町会>

グリーンスローモビリティについて

グリーンスローモビリティの車両について、冷暖房が効かず、夏は暑く冬は寒いため、現在の車両では運転手が快適に運転できない状況です。40人以上のボランティア運転手が真面目に活動していることは素晴らしいですが、過酷な気候条件では続けるのが難しいと感じています。他の地域からも興味を持たれているものの、厳しい環境を伝えると参加をためられることがあります。地域の誇りを保つためにも、車両の改善を検討していただきたいと考えています。

<区長>

グリスロについて、東立石の皆さんが取り組んでおり、区でも検討を進めています。最初はゴルフカートのような車両から始まり、冷暖房を整備した車両へ変更しましたが、これだけの暑さだとエアコンが効かなくなる状況です。今後は、小型ワゴン車のような普通の車両の導入も検討する必要があると考えています。多くの方にボランティアへ取り組んでいただき、利用者の皆様にも喜んでいただいているため、この事業を広げていくことができるように検討をしていきたいと思ひます。

<立石仲町会>

青砥駅周辺の停車について

青砥駅周辺の駐車問題について、特に薬局とバーミヤンのある駐車場付近での交通の混雑が深刻で、夕方にはお子さんの塾帰りの車が多く対向車が来ると通行困難になると感じています。この状況は事故の危険を伴うため、警察と連携して対策を講じてほしいです。また、比較的道幅の広いリブレのスーパー近くの駐輪場スペースをコインパーキングにするなど、何か対策を進めていただきたいと思ひます。

<区長>

子どもたちが塾から帰る際の交通上の問題について、警察と連携して現場の状況を確認して検討したいと思ひます。提案されたアイデアも含めて、お話を聞いたうえで対応策がとれればとっていききたいと思ひます。子どもたちが安全に塾に通えるようにするため、後で相談させてください。

<後日の対応>

近くの学習塾に対して、子どもの送迎等、問題とならないよう申し出を行いました。なお、子どもが道路を飛び出していることが確認できたため、当該学習塾に連絡を行いました。また、事故対策の看板と不法駐車対策の看板を設置することになり、さらに、警察と連携し事故対策を行っていく方針となりました。

(3) 令和7年7月17日(木)

<ガーデンプラザ柴又自治会>

在宅避難について

毎年、防災訓練を行っていますが、阪神・淡路大震災の際に作成したマニュアルを充実させるような形で進めてきました。最近、東京都からマンションでの在宅避難が提案されました。地域での避難体制の構築に向けた取組みが進められており、具体的には、コミュニティを整えることで一定程度の物資を持ち寄ることが可能なのではないかとされています。しかしながら、蓄電池などの

設備が整っていない面もあるため区からこうしたら良いのではといった助言をもらえればと思います。

<区長>

近年、建物の耐震・耐火構造が進み、特にマンションは耐震化補強などをしていれば普通の地震に対しては問題がない状況にあるかと思います。避難中の危険性が指摘されることから、東京都や国も在宅避難を推奨する方針に転換しており、葛飾区でもその方向で説明をさせていただいています。在宅避難にはエレベーター停止や水道の問題などの課題があり、家庭での備蓄が重要とされており、協力していただかなければいけないこともあります。在宅避難のメリットも説明し、理解をいただきながら進めているところです。

令和6年4月に作成した在宅避難ガイド地震版・水害版を元に説明をしました。今年の3月にはマンション向けの防災講座も開設し、マンション防災について、いろいろな意見をいただきましたので、『葛飾区集合住宅防災マニュアル作成の手引き』を準備しています。こちらも活用していただけたらと思っています。

東京都の助成制度や区でも共用部分に導入する蓄電池の補助もできるようになっているので、そうした制度も有効活用していただいて、自助・共助・公助を組み合わせ、災害時の被害軽減に向けた手立てを考えていきたいと思っています。

<ガーデンプラザ柴又自治会>

町会活動の活性化について

所属する自治会の高齢化率が高くなってきているため、高齢者に配慮した取組みを検討する必要が生じ、アンケートを実施しました。東京理科大学ができて地域の活気を感じる中、東京理科大学の地域貢献サークル「カナラボ」と連携し餅つき大会や夏祭りなどのイベントに参加してもらい、交流を進めていくことになっています。

マンションの人口は1,000名を超えていましたが、現在は600~700名というなかで、高齢者が200名以上を占めており、自治会活動に青年の力を取り入れることで活気を生み出すことができると考えています。

<区長>

理科大学生が7,000人になりました。若い世代との連携が重要なことなので、そうした取組みを進めようと思っています。マンションにおける高齢化率は30%を超え、都営住宅では40%を超える地域もあるため、高齢化に適切に対応する取組みが始まっています。具体的には、若者との協力や町会同士の連携を進めることを考えています。

東京理科大学生が葛飾区全体を回ることは難しいため、PTAとの連携なども含めた形を検討しています。また、中学生が主体的に防災訓練や地域イベントに参加する動きも見られ、地域全体で若者の参加を促進する方向で検討が進められています。高齢化が進む中、区としてもサポートをしますので、これからも連携していけたらと思います。

<シティテラス金町自治会>

金町駅周辺の交通問題について

JR金町駅周辺の南北横断道路と西口改札について質問します。現在、金町駅周辺には南北に横断できる道路が4か所ありますが、特に駅西側のアクセスが多く、朝の通勤時間帯に住民の往来が

激しくなっています。京成金町駅側から東京理科大学への道も狭く、通勤時の人や車の往来が危険であると感じています。葛飾区だけでできることではないと思いますが、地域の意見として挙げさせていただきます。

また、水戸街道から水元に抜けるアンダーパスでは、自転車と歩行者の通路が混雑しており、特に子連れやペットを連れた歩行者が多く、自転車はスピードを出しているので車道を走らせるなどの対策ができないかと思っています。今後、大型ショッピングモールの開設に伴い、また世帯が増えてくると思うので、交通の往来についても考えていただければと思います。

<区長>

現在の駅は古く、土手型で穴を開けて通路を作っており、鉄道の高架化の計画はないので、既存の設備や道路を整備して使いやすくすることが一つの方法だと思っています。

特に駅周辺は混雑が激しいとの声をたくさんいただいており、東京理科大学の学生や新しいマンションの影響で交通量が増加しているため、JRとは10年以上前から協議を続けており、新小岩駅のように幅広い南北道路のような形で整備できないか調整を進めています。また、クロス金町前の通路やアンダーパスの通行に対する注意喚起看板の設置など、警察とも協議しながら安全に通れるような状況に改善をしていきたいと思っています。さらに、南北の問題と併せて、駅の北側の部分の道路の拡幅についても、現在準備を進めています。

まちづくりは時間がかかりますが、継続して着実に進めていくことで整備ができるようになります。完成すれば地域が発展するため、重要な課題として進めてまいります。

<プラウドシティ金町自治会>

新金線・デジタル化への助成金について

新金線の整備に関する課題について、技術的な問題として、国道との交差点や川、金町との接続があり、これらが整備を困難にしており、また、多額の費用が必要となっています。この費用をどのように調達するかが重要な問題であり、国や区からの資金だけでなく、開発を行うデベロッパーからの供託金やライセンス料など、民間からの資金調達を検討する必要があります。技術的な問題に加え、資金面での問題が大きくあると思いますが、あまりよく分からないので、もう少し情報として知りたいです。

もうひとつ、自治会へのデジタルに関する助成金について、これまで初期費用の助成はありましたが、継続的な費用も認められるようになったことは良い進展だと思っています。しかし、民間企業はデジタル化によって省力化やコスト削減のメリットがありますが、自治会の場合はもともとアナログで行っていた作業が楽になるだけで、経済的なメリットはありません。そのため、自治会にとっては2分の1を払うのが負担となるので、全額助成が自治会にとってはありがたいと思っています。

<区長>

新金線の整備にはさまざまな財源があり、例えば、新金線の用地の半分を占める複線用地を道路として整備し、都市計画道路として位置付けることでより多くの補助を受けることができ、また、新金線のような新交通システムに対する補助も拡充されてきていることから、制度を有効活用することで区民の負担を軽減できると考えています。

運行に向けては当初の資金も必要ですので、現在、区では60億円を積み立てています。デベロッパーの話がありましたが、将来的に周辺の人口が増えることで採算が取れるかについての計算は

すごく大事です。先のことは読みづらい点がありますが、新金線の周りは開発されていないので、定期的に運行することができれば、開発が進み、利用者が増え、町が活性化してくると思っています。国や都の補助を活用しつつ、運営を黒字化できる計画を立てて進めていきたいと思っています。

補助金については、町会の場合、通常の補助金が2分の1や3分の1であるのに対し、ほぼ100%近くの補助が得られるものもあります。例えば、防犯カメラの補助は約95%です。町会は自ら収入を得るのが難しいため、補助できるものはできる限り補助を続けたいと考えています。また、商店街振興などの支援が地域活性化に役立つと認識される場合、事業者への支援金額も増やすことがあります。町会の活動の重要性を強く感じており、現在は補助を増やして地域活動やイベントを行いやすくしています。収入を得る状況ではないため、さらなる支援について増強してほしい思いは良く分かるので、今後も内容を見ながら検討していきたいと思っています。

<クラウドシティ金町自治会>

クラウドシステムの構築について

最近のDXに関連して、自治会の会議が依然として紙ベースで行われていることが多い中、私たちはクラウドストレージを活用してペーパーレス化を進めています。定例会では、クラウドに保存したレジュメをプロジェクターで映し出して会議を進めています。クラウドはどこからでも情報にアクセスできる利点があります。

各自自治会が独自にデジタル化を進めるのではなく、区がまとめてクラウドシステムを構築し、各自自治会に割り当てることで効率的に進められるのではないのでしょうか。このようなシステムがあれば、閲覧板やメールのやり取りも容易になり、緊急時の連絡手段としても役立ちます。長期的に見ても資産として残るため、こうした取組みが有益だと思っています。

<区長>

さまざまな対策をまとめて行うことが効率的であるという面もありますが、それぞれの自治会の独自性や、ぜひこういうふうにやってみたいとか、年齢構成など、多くの要素があるため、自治会の特性をできる限り生かした支援を行いたいと考えています。そのため、一定の範囲内で一体的な支援が可能な場合は、さらに検討を進めていきたいと思っていますので、お話を伺いながら進めていきたいと考えています。

<金町南自治会>

町会活動時の規制緩和・モンチャレポイントの活用について

金町の再開発により、町がきれいになり、ありがたいと思っていますが、金町駅周辺には公園が不足しているとも思います。新しいマンションが増えたことで、子どもや若い住民と交流するためのイベントを開催していますが、規制が多く、イベントの実施が難しいと感じています。例えば、駅前のイベントをやるときに何回も亀有警察の交通課に行く必要があったり、花火大会を校庭で行う際にも多くの制約があったりします。

また、地域意識を高めるために、ボランティア参加者に対してモンチャレポイントを付与する仕組みなどを検討してもらいたいです。私たちが子どもの頃は中学生がいっぱいいましたが、私立に行く子が増え、地元意識が薄れてきてしまうので、私たちが昔盆踊りとか何かで楽しんだように、地元で何かイベントをやるとき、イベント開催時の緩和策についても検討をお願いします。

<区長>

ふるさと意識や地元の意識は非常に重要であると考えています。金町を含む下町葛飾は、安全で安心な町になっても、マンションになったとしても人々の交流を促進することが大切です。道路使用の許可や学校の校庭の活用については、手間がかかるとの声を聞いているので、もう少し改善を目指したいと思っています。

また、ボランティア活動を活性化するために、モンチャレポイント活用などのアイデアもいただいたので、地域の活動を活性化するための整備なども総合的に考えていきたいと思います。特に学校の校庭をもっと活用しやすくするために、安全管理を考慮しつつ教育委員会と連携して取り組み、最終的には、子どもたちが葛飾に対する愛着を持つようにしていきたいと考えています。

<東金町中央自治会>

空き家対策について

しょうぶ通りの入り口にある空き家が十数年も放置されており、現在はシャッターが折れ、落書きや雑草が目立っています。このため、町会に訪れる方から「みすぼらしい」と言われます。また、しょうぶ通りの道路拡張に関する再開発の話もありますが、具体的な進展がないため、住民からの質問が絶えません。

さらに、その建物の裏側に老朽化したアパートがあり、倒壊の危険があるため、特に台風や地震、火事のリスクを懸念しており、毎晩不安を抱えています。これらの問題について、住民が安心して暮らせるように前向きに進めていただきたいと思います。

<区長>

空き家は大きな課題であり、日本全国でさまざまな問題が発生しています。葛飾区では特に手入れがされていない危険な空き家、地震や火事があったら大変ないわゆる特定空家に対して積極的に対策を進めています。

これまでにお話をいただいた空き家の約8割が一定の解決に至っていますが、手続きが煩雑であることは事実で、日本は私有について非常に権限が強くなるので、どなたかが持っているものを何とかするというのは非常に大変です。しかし、手続きを踏んで、まずは所有者に対して話をし、どうしても対応がない場合には、解体するケースもあり、これは全国に先駆けて初めて10年近く前ですがやりました。

危険な空き家については、今後もしっかりと対策を講じていきますので、ぜひお話をお聞かせいただきたいと思います。

<東金町中央自治会>

空き地の雑草について

近所の空き地では雑草が茂っており、ハクビシンやアライグマが出てくるため、環境問題が懸念されています。この点についても考慮していただきたいと思います。

<区長>

空き地の所有者には適切に管理するよう依頼していますが、なかなかそのとおりにやっただけでないケースもあるので、再度督促を行うなど、地域環境をよくするようしていきたいと思います。

<シティタワー金町コミュニティクラブ>

J R金町駅西口改札の新設・金町地区センター跡地の活用について

まず、金町駅西口改札についてですが、現在の改札が狭く混雑しているため、新たに西側に改札を設けることはできないかという要望が多く寄せられています。区長からは、J R東日本との意見交換を定期的に行っているとお話をいただいておりますが、西口改札の改善についての進捗をお聞かせいただければと思います。また、クロス金町の開発に伴い、2,000人以上の定住者が増えることが予想されています。このため、西口改札を含めた抜本的な対応が必要だと考えています。

また、金町地区センターの跡地利用について、区長としてどのようにお考えかお聞かせいただければと思います。ここは駅への重要な動線であり、利便性の高い交通広場や改札へのアクセス道としての検討をお願いしたいと考えています。

<区長>

金町駅は発展してきており、乗降客も増加している状況です。葛飾区では理科大の誘致を行い、多くの方に来ていただけるようになりました。しかし、道路や交通の問題も出てきています。金町は大きく発展しているため、今後さらに乗降客が増えることをJ R側に伝えていきます。J R東日本の社長とは年に一度お会いし、お話ししていますが、乗降客が増えない前提での議論が続いているため、今後の増加にどう対応するかを話し合っていきたいと考えています。

西口の設置については、30年から40年前から要望があり、J R側にも申し入れをしてきましたが、乗降客が相当数増えない限りは費用の面もあり、1か所で十分だという意見が返ってきています。今後、人が増える中で西口が必要だという議論を続けていきたいと思っています。

また、駅周辺の道路を広げる必要があり、通行する人が安心できる環境を整えることも重要です。

駅前の広場の整備や、北側のURの建替え計画についても考えていく必要があります。さらに、東急ストアが入っている場所についても地主と協議を進めています。これらの道路の動線やまちづくりを総合的に考え、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

金町地区センターの跡地については現時点で最終確定したものではありませんが、道路の拡幅のための用地となる計画をお示ししています。

<シティテラス金町自治会>

防犯カメラの設置助成拡大について

集合住宅の防犯カメラの購入助成について、私自身は管理組合のことに詳しくないため、助成金のチラシを持参したところ、当マンションでは防犯カメラを新規で購入しているのではなく、リースやレンタルで運用しているとのことでした。

今回の助成金については、リースやレンタルの防犯カメラには対応できないとのことでした。今後、リースやレンタルの防犯カメラに対しても助成金が利用できるような検討をしていただければと思います。

<区長>

防犯カメラは非常に重要なものであり、最初は戸建て住宅に対して対応を行いました。昨年までは助成金が4万円でしたが、今年は東京都の補助も加わり、両方で6万円に増額しました。また、昨年の段階でマンションについても必要性が高いと判断し、助成を行うことにしました。

ただし、現在の制度は主に小型のマンションで防犯カメラが設置されていないところに対する補助を想定しています。したがって、大型のマンションで既にカメラが設置されている場合や、リ

ース、運営費に関しては現時点では検討していない状況です。今後、いただいたお話をもとに、何か検討できるかどうか考えてみたいと思います。

<プラウドシティ金町自治会>

自治町会長の学校行事参加について

学校の卒業式や入学式、運動会などの行事についてですが、コロナ禍前は近隣の自治町会の会長宛に案内状が送られていました。しかし、コロナ禍で行事が制限され、規模縮小の案内があったものの、コロナが終わった後には、招待が全く無くなってしまった学校もあります。

これが全ての学校に当てはまるかどうかは分かりませんが、少なくとも私の地域ではそうなっています。学校の行事は各町会長と会う貴重な機会であり、運動会などでは競技を見ながら隣の会長さんと情報交換をする良い時間でした。しかし、最近その機会がなくなってしまい、「寂しいね。」と話すことが多くなっています。

<区長>

学校行事は地域にとっても非常に重要だと思います。私自身、学校の生徒を育てるのは家庭、学校、そして地域の協力が不可欠だと考えています。地域の方々が学校行事に参加し、普段から子どもたちのための活動を支援していただくことは、大変意義のあることです。

コロナ禍の影響で行事が制限されていましたが、少しずつ状況が戻りつつあると思います。この点について、教育長からお答えさせていただければと思います。

<教育長>

行事等の招待状については、現在、各学校の校長が判断している状況です。区としては、大分コロナ禍前の状態に戻っていると認識していますが、もし招待状が届いていない場合は、ぜひ私たちにご連絡いただければと思います。学校にしっかりと伝え、改善に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

令和7年度自治町会長連絡会 開催報告（概要）

令和8年2月

葛飾区総務部すぐやる課

編集・発行

〒124-8555 葛飾区立石五丁目13番1号

TEL 03(3695)1111（代表）